

施策評価シート（令和3年度 実績）

まちづくりの方向性	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-5「にのみやLife」の提案と発信による町の魅力の再発見
概要	<p>町が持つ多様な資源を生かした多彩な生き方や働き方を選択できる魅力ある暮らしを「にのみやLife」として、広く町内外に発信することで定住人口の確保を目指します。</p> <p>町の強みである温暖な気候や豊かな自然環境、特色ある子育てや教育など、町が持つ様々な資源を生かすことで、この町ならではの暮らしによる町の魅力を再発見するとともに、民間事業者等と連携しながら、空き家や空き店舗といった既存資源の利用を促進するなど、様々な生活ニーズに対応可能な質の高い暮らしが実現できる環境づくりを進め、「二宮町に住み続けたい、住んでみたい」と思う人を増やすための提案と発信をしていきます。</p> <p>また、移住促進キャッチコピー「きみのふるさとになりたい」を使用して、町民活動団体や民間事業者などと町が連携しながら、「にのみやLife」を町外に広くアピールすることで、二宮町に関心を持つ人の拡大を図り、移住の促進につなげます。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	子育て世代包括支援事業	23,637	31,530	21,390	良好・維持	良好・維持	良好・維持
2	育児発達支援事業	5,050	4,547	5,548	良好・維持	良好・維持	良好・維持
3	子ども・子育て支援給付経費	437,326	526,548	555,491	適当・維持	適当・維持	適当・維持
4	百合が丘保育園運営事務経費	96,827	61,861	42,303	適当・維持	適当・維持	適当・維持
5	百合が丘保育園維持管理経費	6,872	4,595	6,418	良好・維持	適当・維持	適当・維持
6	私立幼稚園教育推進事業	26,852	3,838	2,902	適当・要改善	適当・維持	適当・維持
7	病後児保育事業	1,102	1,120	974	良好・維持	良好・維持	良好・維持
8	小児医療費助成事業	69,016	54,533	60,551	適当・維持	適当・要改善	適当・拡大
9	児童手当支給事業	339,073	332,278	323,897	良好・維持	良好・維持	良好・維持
10	児童虐待防止対策事業	6,306	6,016	6,638	良好・維持	良好・維持	良好・維持
11	ひとり親世帯関係経費	14,965	16,836	13,676	良好・維持	良好・維持	良好・維持
12	子育てサロン及び一時預かり運営事業	25,349	23,702	25,621	良好・維持	良好・維持	良好・維持
13	子育て支援対策事業	14,201	7,784	6,467	良好・維持	適当・維持	適当・維持
14	学童保育所維持管理経費	39,241	62,588	54,840	良好・維持	適当・維持	適当・維持
15	広報活動事業	12,299	11,995	11,569	良好・維持	良好・維持	良好・拡大
16	情報公開関係経費	889	807	817	良好・維持	良好・維持	良好・維持
17	にのみやLifeプロモーション事業	3,598	2,515	2,435	適当・維持	適当・維持	良好・維持
18	まちづくり移動町長室の実施	1,084	437	432	適当・要改善	不良・要改善	適当・要改善
合計		1,123,687	1,153,530	1,141,969			

成果（○） 課題等（●）	<p>○小児医療費の所得制限廃止について条例改正を行い、令和4年10月から適用することとした。</p> <p>○新しく増えた移住者の方々のご協力により、多彩な生き方や働き方を「にのみやLife」として発信することができた。</p> <p>○社会移動数は、令和元年度▲25人、令和2年度+119人、令和3年度+49人であった。</p> <p>●多様化する子育て支援ニーズへの更なる対応が必要である。</p>
-----------------	--

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
妥当性	■	□	□	□	□	
有効性	□	■	□	□	□	
効率性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	

※1次評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	<p>小児医療費の所得制限廃止について条例改正しており、引き続き多様化するニーズに対応していく。移住者の方々の多彩な生き方や働き方を、それぞれの「にのみやLife」として、広く町内外に発信することができ、コロナ禍で始めたオンライン移住相談も相乗効果を発揮し、移住人口の増加につながっている。今後も、町の強みである温暖な気候や豊かな自然環境、特色ある子育てや教育など、町が持つ様々な資源を生かし、「二宮町に住み続けたい、住んでみたい」と思う人を増やすための提案と発信に努める。</p>

※ 町の最終方針 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン移住相談が好評で、転入者数の増加にも寄与して結果を残していることから、引き続き様々な方法で「にのみやLife」を情報発信し、町の魅力向上に努める。 ・多様化・複雑化する子育てのニーズに対応できるよう、社会情勢に応じた支援を講じることで、安心な子育て環境の醸成を図り、定住人口の確保に努める。